



文 武 両 輪

ぶん ぶ りょう りん
～勉強も行事も部活動も～

令和6年 4月11日

【文責】校長 蔦川 誠

御入学 おめでとうございます

4月8日(月)、令和6年度入学式を挙行了しました。今年度は75名の新入生を迎えました。新入生の皆さん、入学おめでとう。中学校生活が始まりました。夢と希望が叶うように、毎日少しずつ努力を積み重ねていきましょう。
以下に、式辞(一部省略)と新入生誓いの言葉(一部省略)を掲載します。

～ 入学式 式辞 ～

(前略)

今年度皆さんが先輩たちと新たな伝統を創り上げていくにあたり、3つのことをお願いします。
1つ目は、『自ら進んで勉強すること』です。勉強は自ら進んで行うものであり、誰かに言われて勉強するのは、学力はあまり伸びません。まずは自分から進んで勉強する習慣を身に付けてください。勉強する習慣が身に付けば、勉強が苦しいものではなくなり、授業内容がより一層分かるようになったり、できるようになったりして、とても楽しくなります。勉強が楽しくなると、得意教科もできて自分に自信が付き、さらに夢や希望が大きくなって、夢や希望の実現に向けて努力することも楽しくなります。また、勉強は何も授業だけに限りません。授業以外の学校生活全てが勉強となります。係活動や委員会活動で自分の責任を果たすこと、先輩や仲間とよりよい人間関係をつくること、部活動でチームワークを強くすること、これらは全て将来にも役立つ、中学校生活での大事な勉強です。

2つ目は、『思いやりの心をもつこと』です。中学生ともなれば、我がままや自分勝手な行動で他の人を傷つけたり、集団に迷惑をかけたりしないよう、十分に考えた上で行動しなければなりません。思いやりの心もち、困っている人に手を差し伸べることができる人、他人の心の痛みがわかる人に成長してほしいと思います。皆さん一人一人は、この世界でたった一人しかいない、他に代えることのできない大切な存在です。普段から、自分も仲間も大切にしたいと思いをもち、生活を送ってほしいと思います。

3つ目は、『たくましく生活すること』です。中学校生活が始まれば、楽しいことやうれしいことがたくさんある一方で、勉強の悩みや友達とのトラブルなど、心が折れることや悩むことも少なからずあると思います。感じやすく傷つきやすい中学生の時期には、誰にでもあることです。そんなうまくいかない時こそ、支えてくれる存在である、友達、先生方、家族を頼りに乗り越えてほしいと思います。

中学校生活の中で苦しいことや頑張らなければならないことを乗り越え、たくましい心と体を育ててください。数多くの経験を経て、皆さんがたくましく成長することを期待しています。

(後略)

～ 誓いの言葉 ～

(前略)

中学校は大人になる私たちにとって、自分の夢をふくらませ、叶えるための準備をするところだと思っています。私たちは小学校時代、笑顔でお互いに協力しながら夢中になって挑戦することで、運動会や学習発表会の劇などを成功させてきました。中学校生活でも仲間と心をつなげて、新たなチームで成長していけるよう努力していきます。(中略)

私たち75名は長者中学校の一員として、よりよい学校になるよう、精一杯努力していきたいと思っています。まだ、私たち新入生は右も左も分からない状態です。どうか、先生方、先輩方、温かい目で見守っていただき、ご指導くださいますようお願い申し上げます。

長者中学校の生徒として自律し、お互いに尊重し合いながら、日々努力し続けることをここに誓います。

(後略)